

『ベビーカーでウォッチング』報告書

・日時：2011年3月9日（水）

10:30~11:30

・場所：イオン土浦ショッピングセンター

・参加者：親子6組

・イオン土浦担当者：池田準営業マネージャー・(株)イオンディライト根本センター長

視察の様子

2009年にオープンした「イオン土浦ショッピングセンター」。壁面ソーラーパネルの設置や、壁面緑化など、環境に配慮したショッピングセンター。

参加者と担当者2人と共にエレベーターに乗って、各階のトイレ、授乳室、フードコートを見学しながら、段差がないことをチェック。各お店の床材によって高さに差が出来ることもあるが、入口の段差は出来るだけ無いようになっている。エレベーターでは階数ボタンが大きく見やすく押しやすい。エスカレーターの乗り口には横からは入れないようガードがあり、また下りの速度が遅くなっていて安全に利用できる。

【トイレ】

すべてのトイレに多目的トイレがあり、子ども用補助便座も用意してある。オストメイトについての説明を受け、1Fに1か所、2Fに2か所、3Fに1か所、計4か所ある。温水シャワーがついている洗面台（汚物流し）では、子どもがトイレを失敗してしまってもおしりやパンツを洗うことも出来る。ベビーキープは女性用トイレの5個室のうち1つある。男性用トイレにもベビーキープとオムツ交換ベッドがある。

【赤ちゃん休憩室】

オムツ交換ベッドの他、つかまりオムツ替え台、授乳個室が2部屋、中にも外にもソファがあり、授乳を待つ家族に優しい。つかまりオムツ替え台は、参加者から絶賛で、身長を測れるメモリがついていて嬉しい。

【フードコート】

全800席、キッズスペースや子ども用の椅子がある。洗面台が低く、子どもでも使える。テーブルの角が丸くなっていて、子どもの高さに配慮してある。フードコート隣接の有料のキッズスペースでは、1480円/2時間（映画館、美容院等の利用で割引あり）で子どもを預かってくれる。

～池田さんからイオンの取り組みについての説明～

美浦・つくば・石岡の養護学校、老人ホーム、少年団を受け入れていて、映画観賞・食事会・買い物体験を行うなど、地域に根差した取り組みを行っている。アンケートを実施し

それらの回答から、3Fのフードパークにミキサーなどの介護で必要となるコンセントを設置したり、食物アレルギーに対応したメニューあったり、持参した冷凍食品の保管ができたりと、柔軟な対応をしている。

意見交換

【トイレ】

多機能トイレでは便座脇の上げ下げできる手すりの形状が、手を挟む可能性があるのでは？ →改善の方向で進めます。

トイレの個室で子どもが空けてしまうので、子どもが届かないところに鍵が欲しい。
→前向きに検討します。

子ども専用トイレが欲しい →今までなかった意見だったので、考慮してみたい。

【赤ちゃん休憩室】

オムツ交換ベッドの天井部分に、子どもが注意を惹くようにモビールや絵が描いてあるといい。 →検討の1つに入れたい。

【その他】

AEDは全館に何カ所あるか？ →1F2カ所、2F1カ所、計3カ所ある。

館内に点字ブロックがないのは？ →目が不自由な方は、入口のインターホンを押せばインフォメーションが対応し、介添えをしてくれる。点字ブロックがないので凹凸がなく、ベビーカーを押しやすい。

館内全体にベンチではなくソファが多くてよい。 →館内は広いので休憩できるように、約300席ある。飲食もO.K。

迷子は一日でどれくらいいるか？ →土日では1時間に1人くらい。インフォメーションで預かる。

県内では比較的新しい施設ということもあり、館内には人と環境に優しい設備がたくさんありました。今回子連れで訪れた場合の意見も真摯に聞いてくださりいい経験をさせていただけたと思います。イオン土浦の池田さん根本さん、ご参加下さった皆さん、ありがとうございました。